

# 第2章

## インストール手順

### 2.1 ファイルの展開

CD-ROM内のTOOLディレクトリにあるEDBroWディレクトリは以下のような構成になっております。

ディレクトリ名	内容
DOC	ドキュメント
EXEC	辞書トランスレータとブラウザ本体 + 設定ファイル
SOURCE	ソースコード一式

ブラウザを起動する場合には、適当なディレクトリに実行ファイルと設定ファイル（edbrow.exe, edbrow.ini, code.tbl）をコピーするだけで、他に必要な作業はありません。

以下のインストール手順では、システムの動作環境を構築する手順・方法を述べます。

### 2.2 ブラウザのインストール

EXEC ディレクトリにある、edbrow.exe が実行形式です。

最初に、EXECディレクトリにある全てのファイルを適当なディレクトリにコピーして下さい。

ブラウザを実行する際に、同一ディレクトリに、システムの初期化ファイル（EDBROW.INI）がなければなりません。また、ユーザ情報ファイルも、実行時のディレクトリに格納されることになります。

### 2.3 辞書トランスレータのインストール

Windows 版では、EXEC ディレクトリにある、dtrans.exe を適当なディレクトリにコピーして下さい。Windows 版辞書トランスレータでは、作成される辞書のパス名を指定することもできますが、デフォルトでは、辞書は dtrans.exe があるディレクトリに作成されます。

UNIX 版では、SOURCE ディレクトリ->DTRANSディレクトリ->UNIXディレクトリにあるファイル dtrans を適当なディレクトリにコピーし、このディレクトリにパスを通して下さい。なお、このディレクトリにある dtrans は、Sun SparcStation + SunOS-4.1.3 用にコンパイルしたものです。これは、Sun SparcStation + Solaris 2.3 でも動作は確認しています。それ以外の UNIX ワークステーションでは、トランスレータをコンパイルし直す必要があります。

トランスレータの構築方法については、2.4 を参照して下さい。

## 2.4 ソフトウェア構築手順

本節では、ソフトウェアの構築手順について記します。通常は、提供されている実行形式のファイルで問題なく動作しますので、本節の説明は読まなくても結構です。

ソースコードを変更したい場合、あるいは、Sun SparcStaion 以外の UNIX ワークステーションで dtrans を利用したい場合には、ソフトウェアを再構築する必要があります。その場合は、以下の手順に従って構築して下さい。

### 2.4.1 ディレクトリの構成

SOURCE ディレクトリの下には、以下のものが含まれています。

ディレクトリ名	内容
browser	EDBroW ソースコード一式
dtrans	辞書トランスレータ・ソースコード一式
unix	UNIX版トランスレータ
windows	Windows版トランスレータ
common	辞書検索ライブラリ・ソースコード一式
jcorp	日本語コーパス関連ソースコード一式
search	コーパス用データ管理関連ソースコード一式

Windows 上でのソフトウェア構築には、Microsoft Visual C++ (5.0) が必要です。

## 2.4.2 辞書トランスレータの構築

辞書トランスレータは、UNIX 版と Windows 版の2種類があります。それぞれにソースを用意してありますが、ファイルが MS-DOS 形式 (SJIS) であるか、UNIX 形式 (EUC) であるか、の違いはありません。

### UNIX 版

SOURCEディレクトリにある dtrans/unixに構築環境があります。

make で、dtrans コマンドが作成されます。SunOS-4.1.3 附属の Cコンパイラ、および gcc-2.5.8 で動作確認を行っています。

### Windows 版

まず、SOURCEディレクトリ以下全てを P C のハードディスクにコピーしてください。

SOURCEディレクトリにある dtrans/windowに構築環境があります。ここにある dtrans.dsp, dtrans.dsw が読み取り専用になっているので、それを外してください (該当ファイルを右クリックし、プロパティを選択することで、その指示を与えるダイアログが開かれます)。

次に、dtrans.dsw をダブルクリックし、VC++ が立ち上げ、ビルドを行なえば、Release の下に実行形 ( dtrans.exe ) が作成されます。

## 2.4.3 辞書検索ライブラリの構築

必要があれば、ブラウザ構築の前に辞書検索ライブラリを構築します。提供されるソースでは、すでに構築されたライブラリ ( edsrch.lib ) が search ディレクトリに含まれていますので、ブラウザのみの再構築の場合は、ライブラリの構築は必要ありません。

ライブラリの作成手順は、以下の通りです。

SOURCEディレクトリにある search に構築環境があります。ここにある Edsrch.dsp, Edsrch.dsw が読み取り専用になっているので、それを外してください (該当ファイルを右クリックし、プロパティを選択することで、その指示を与えるダイアログが開かれます)。

次に、Edsrch.dsw をダブルクリックし、VC++ が立ち上げ、ビルドを行なえば、Debug の下にライブラリ ( edsrch.lib ) が作成されます。

なお、edsrch.lib は、EDBroW からの利用を前提に作られていますので、それ以外の用途で利用する場合には不都合が生じることがあります。したがって、他の用途で利用する場合には、ライブラリの再構築が必要です。詳しくは、ライブラリのディレクトリにある、readme.{euc,sj} を参照して下さい。

#### 2.4.4 ブラウザの構築

以下の通りです。（先に、辞書検索ライブラリが作成されていることを確認して下さい）

SOURCEディレクトリにある browser に構築環境があります。ここにある edbrow.dsp, edbrow.dsw が読み取り専用になっているので、それを外してください（該当ファイルを右クリックし、プロパティーを選択することで、その指示を与えるダイアログが開かれます）。

次に、edbrow.dsw をダブルクリックし、VC++ が立ち上げ、ビルドを行なえば、Release の下に実行形（edbrow.exe）が作成されます。